

11. 障がいのある子どもに対し、乗馬を通じて 身体能力の向上を図る

グループ名 障がい者乗馬サークル「パカラッパ」

代表者 笹井久嗣

①活動の目的*

心身に重度な障がいを持ったお子さんが、馬場での体験を通じて、馬の温かみや息吹を感じ、実際に騎乗することでその揺れを体感し、身体機能の向上を図ることを目的とする。

②活動概要

活動実施日：

第一回 平成28年10月2日

第二回 平成28年10月29日

第三回 平成28年12月4日

第四回 平成28年12月18日

第五回 平成29年6月11日

第六回 平成29年6月25日

第七回 平成29年7月2日

第八回 平成29年7月23日

第九回 平成29年9月10日

第十回 平成29年9月30日

活動効果を整理すると以下の2点となります。

①障害を持ったお子さんが活動する（遊び）場の提供

②重度な障害のあるお子さんに対して馬に乗る機会を提供

①障害を持ったお子さんが活動する（遊び）場の提供

障害者乗馬サークル「パカラッパ」はH28年10月～H29年9月まで計10回開催しました。土曜日または日曜日に開催し、一年を通しておよそ30家族に参加頂きました。ご家族のご都合により、一度だけの参加のご家族もおられました。一度もお休みされる事無く全10回、毎回参加して頂いたご家族もおられました。土日に開催したことで、対象児のご両親（時には祖父母も）や御兄弟と一緒に参加される場合が多く、休日に障がいを持ったお子さんとご家族が過ごす場としての役割を果たせたのではないかと考えます。



【始まりの会の様子】



【乗馬の様子を眺めながら会話を交わす】



【お母さんと一緒に乗馬体験】



【騎乗後に保護者と喜びを分かち合う様子】

②重度な障がいを持つお子さんに対して馬に乗る機会を提供

障がい者乗馬クラブ「パカラッパ」では、日頃、身体機能の発達に遅れがみられる対象児のリハビリテーションに従事している作業療法士（以下 OT）及び理学療法士（以下 PT）が中心となり、例会を行ってきました。そのため、他の乗馬サークルでは騎乗が難しいと考えられる対象児（特に頸のすわっていない児童やジッと座る事が難しい児童など）でも可能となるよう OT・PT がインストラクターとして環境の調整を行い騎乗の機会を提供しました。重度な障がいを持つ児童は自発的に動くことがむずかしいため、環境から受ける刺激が乏しく、表情の変化も健常児に比べ少ない傾向があります。しかし、騎乗の機会が提供されたことで、「パカラッパ」の開催中に笑顔が非常に多くみられました。



【専門的な技術を持つセラピストの身体介助】



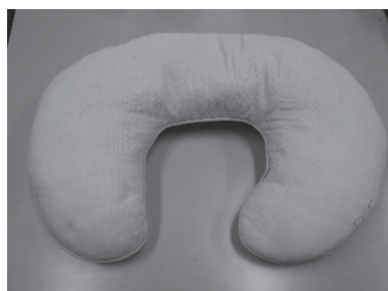
【身体を保持しやすくするクッションの使用】



【騎乗による対象児の笑顔】



【身体的誘導により騎乗を可能にする】



【対象児の身体を支えるクッション】



【頭を支えるネックロール】

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて下さり、ほんとうにありがとうございました（今後は保護者へのアンケート調査を行いサークルの継続を検討し、乗馬を用いた運動機能の発達に関する研究も行って行きたいと考えます）。

③決算報告書

収入	
大同生命厚生事業団助成金	100,000 円
参加費（述べ 102 家族：一家族 2,000 円）	204,000 円
合計	304,000 円
支出	
貸し馬代	340,000 円
ボランティアスタッフ交通費 （述べ 54 名：1 名 2,000 円）	108,000 円
合計	448,000 円